

【報告事項】

I. 2021年度推進活動総括

2021年度は、コロナ禍をふまえた対応として、北海道ろうきんと連携のうえ、「新型コロナウイルス関連特別融資」や「WEB完結型ローン」の周知活動等、組合員の生活に資する活動を展開しました。また、連合北海道・2020生活アンケートの結果をふまえた、「組合員と家族に直接届ける教宣活動」や「つなぐプロジェクトの強化」を通じて、ろうきんメインバンク No.1 への取組みを進めました。

さらに、北海道ろうきん創立70周年記念事業による「奨学金借換ローンの金利引下げ」や「奨学金借換+αローン」等の記念事業と連動した取組みにより、「ろうきん運動」を間断なく進めました。

<新型コロナウイルス感染症の諸情勢をふまえた取組み>

1. 「新型コロナウイルス関連特別融資」の周知活動

新型コロナウイルス感染症による社会的・経済的影響を勘案し、北海道ろうきんが勤労者セーフティネット機能を発揮すべく取扱いを開始した「新型コロナウイルス関連特別融資」について、積極的な周知活動を展開しました。

| 新型コロナウイルス関連特別融資【2021年度】 | | |
|-------------------------|-----|--------------|
| 【融資件数】 | 16件 | 【融資金額】 427万円 |

2. WEB完結型ローンの推進

コロナ禍における組合員ニーズに合致した取組みとして、WEB完結型ローンの各種商品に関する積極的な周知活動を展開しました。

| 商品名 | 融資件数 | 融資金額 |
|--------------|------|-----------|
| WEB完結型轟ローン | 390件 | 7億5,050万円 |
| WEB完結型教育ローン | 44件 | 6,582万円 |
| WEB完結型フリーローン | 14件 | 970万円 |
| WEB完結型マイプラン | 222件 | 1億4,130万円 |

3. 「ろうきん News」の活用

ろうきんと連携し、2021年度は合計34回のニュースを全道の462会員（メール：404会員、FAX：58会員）へ発信し、情報をタイムリーに届ける活動を展開しました。

<重点取組項目>

1. つなぐプロジェクト推進運動の取組み【資料1-①・②参照】

- (1) 全道推進会議総会（4/15）にて、つなぐプロジェクトにおける独自重点項目を設定し、地域の特性に合った好事例を「パイロット推進委員会の取組み」として共有することを方針化したことをふまえ、第2回全道推進会議（10/26）にて、つなぐプロジェクトに関する「各店・出張所推進委員会の好事例」の共有化・取組み強化を図りました。
- (2) 各種取組みの結果、2022年3月末時点での「つなぐプロジェクト」対象項目の新規

取引実績は 44,065 件、「北海道ろうきん ATM 利用件数」は 1,491,930 件となり、利用実績に応じた福祉団体への寄付見込額は 5,898 千円となりました。

【対象項目実績】

| No | 項目 | 年間目標 | 3月末実績 | 達成率 |
|----|------------------------------|--------|--------|--------|
| ① | メイン化（給振・年金・公振・クレジット） | 18,100 | 19,421 | 107.2% |
| ② | 預金（財形・エース・お子さま口座） | 6,535 | 6,047 | 92.5% |
| ③ | 融資（団体融資・手形貸付等除く） | 15,122 | 16,635 | 110.0% |
| ④ | 預かり資産（個人型DC新規・投信契約者増加数・国債新規） | 1,921 | 1,962 | 102.1% |
| | 合計 | 41,678 | 44,065 | 105.7% |

【北海道ろうきん ATM 利用件数】

| 項目 | 件数 |
|------------------|-------------|
| 北海道ろうきん ATM 利用件数 | 1,491,930 件 |

(3) 本支店・出張所推進委員会表彰

表彰推進委員会は、34 推進委員会のうち、以下の 22 推進委員会となりました。

| 順位 | 推進委員会名 | 表彰金 | 表彰理由 |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------------|
| 1 位 | ① 芦別出張所 | 5 万円 | 達成率 1 位 |
| 2 位以下 | ② 名寄支店、③ 砂川出張所、④ 旭川支店、⑤ 苫小牧支店、⑥ 函館支店、⑦ 滝川支店、⑧ 遠軽出張所、⑨ 札幌平岡支店、⑩ 帯広支店、⑪ 釧路支店、⑫ 紋別出張所、⑬ 中標津支店、⑭ 網走支店、⑮ 室蘭連合支店、⑯ 倶知安支店、⑰ 札幌西連合支店、⑱ 赤平出張所、⑲ 札幌東支店、⑺ 北見支店、⑺ 札幌麻生支店、⑺ 小樽支店 | 1 万円 | 達成率 100%超 ※達成率順 |

※表彰金は、当該推進委員会に地域活動費として支出します。（6 月頃予定）

(4) 地元の NPO 団体等への寄付

① 「つなぐプロジェクト」対象項目の利用実績に応じた各地域への福祉団体への寄付額は 5,898 千円となりました。

② よって、ご利用実績に応じた各推進委員会の寄付額は、174,000 円となりました。

※[計算式]5,898,430 ÷ 34 本支店・出張所推進委員会 = 173,483 円 ≒ 174,000 円（百円以下切り上げ）

| | 2021 年度の利用実績に応じた寄付額 |
|-------------|---------------------|
| 金庫全体 | 5,898,430 円 |
| 各店・出張所推進委員会 | 174,000 円 |

2. 連合北海道・2020 生活アンケートをふまえた「メインバンク No.1」への取組み

(1) 「家庭に届ける」ろうきん周知活動の展開

① コロナ禍により、職域での個別オルグに制限がある現状をふまえ、組織主導での周知活動により、ろうきんへの共感の環を広げることで、取引拡大に繋げる「家庭に届け！いいこと R（アール）キャンペーン」を実施しました。

※【実施期間】2021年10月1日～2022年3月31日

- ② 全道展開に向けた取組みとして、連合・労福協と連携して、福祉向上キャンペーン要請活動（9/1～9/16）を実施し、17産別に対し取組み主旨・具体対応について共有しました。
- ③ 応募総数は1,862名になり、会員組合員から家庭内での周知が図られ、家庭内周知に関する取組みが進展しました。組合員からは、「娘が楽しくぬりえをしていた。ロッキーは知っていたがピンキーは知らなかった。家族で楽しく参加できた」「クロスワードパズルの応募フォームが二次元バーコードのため、応募用紙を提出することなく、簡単に応募が出来て良かった」等の意見が寄せられ、家庭内でのろうきん周知を図ることができました。

(2) 組合員様専用サイトの周知活動

- ① 本サイトは、組合役員や組合員個人が利用することのできるプラットフォームとなっていることから、産別・単組役員と連携のうえ、支部・分会等の情宣担当者や会員組合員に対し、積極的な周知活動を展開しました。
- ② 組合員様専用サイトの活用に向けては、ろうきん News での周知を図るとともに、「WEB アンケート BOX の活用」や「組合役員に役立つ情報の掲載」により、2022年3月末の当該ページへのアクセス数は2,713件となりました。

3. 「ろうきんフォトフォーラム ～写真の広場～ 2021」周知活動

- (1) 各店・出張所推進委員会や友の会が、集合形態のイベント開催に苦慮するなかで、広く会員組合員とその家族（友の会含む）が楽しく気軽に参画でき、幅広い世代からろうきんファンを拡大するWEBイベントとして、「ろうきんフォトフォーラム～写真の広場～2021」を実施しました。

※【実施期間】2021年11月1日～2022年2月10日

- (2) 122名から応募作品があり、会員組合員とともに、友の会の皆さんも参画されました。応募作品は、ろうきんホームページの特設ギャラリーにて全作品が定期的にアップされ、2022年2月28日まで公開されました。
- (3) 組合員からは、「コロナ禍に負けぬよう工夫を凝らしたイベントに感謝したい。各地からの応募作品を見て、とてもやさしい気持ちになった」「スマホに撮りためていた写真を昼休憩時に気軽に応募できた」「ろうきんと利用者をつなぐものとして継続してほしい」等の意見が寄せられました。

< 共通取組項目 >

1. 可処分所得向上運動の取組み

職域活動費を活用した学習会等による組合員への周知活動、低利なカードローン（マイプラン）の保有・活用運動や奨学金・他行高金利ローンの借換運動を展開した結果、可処分所得向上額は5億75百万円（前年同期比△1億35百万円）となりました。

2. 職域活動費の活用【資料3-①・②参照】

- (1) 会員による職域活動費を活用した学習会は180回、延べ3,425名の出席となり、コロナ禍ではあるものの、会員組合員との接点強化が図られました（内、WEBを活用した学習会は7回となりました）。

- (2) 主に、「新人説明会」「若年層説明会」「住宅ローン等商品説明会」「奨学金問題(借換)に関する学習会」を目的とした活用となりました。
- (3) 取組みの結果、職域活動費の活用金額は5,372,292円となりました。

3. 推進機構活性化運動の展開

(1) 運動の基盤強化

ろうきん運動基盤拡大に向け、「大会議案書へのろうきん運動方針化」「組合機関紙への商品・サービスの掲載」「職場推進委員会の設置・活性化」【資料4参照】に取組みました。結果として、「大会議案書へのろうきん運動方針化」は200会員、「組合機関紙への商品・サービスの掲載」は107会員、「職場推進委員会の設置数」は488会員となりました。

(2) 青年・女性委員会との連携

連合女性委員会と連携し、6月5日に開催された「2021男女雇用機会均等法集会」にて、WEBサービスや可処分所得向上運動について共有しました。

4. 「2021年度生活応援運動」の展開

(1) 生活設計運動の取組み

① ろうきんアプリ・エコ通帳推進運動

残高・入出金明細照会、かんたん通帳(Money Forward)、住所変更、ろうきんホームページへのリンクなど、いつでもどこでも確認できる「ろうきんアプリ」推進運動と、通帳記帳・繰越の必要がない「エコ通帳」推進運動を展開しました。

| |
|-----------------------------------------------------|
| ろうきんアプリ契約件数 (2022年3月末時点) |
| 【契約件数】15,939件 【累計契約件数(2019年10月22日~2022年3月末)】47,412件 |
| エコ通帳 [通帳不発行型の普通預金口座] (2022年3月末時点) |
| 【新規件数】4,687件 (前年同期比+1,665件) |

② 退職金結集運動【資料5参照】

「産別からの退職者情報提供(8産別)」「全開発・JP労組・北教組における機関会議での取組方針化」「説明会・セミナー開催(23会員・206名)」など、会員・推進機構による主体的な運動を展開しました。

| |
|-----------------------------------------------|
| 退職金結集金額 (2022年3月末時点) |
| 【運動目標】92億95百万円 【運動成果】188億62百万円 (目標対比95億67百万円) |

③ 季節キャンペーン結集運動

ろうきん運動の原点である夏季一時金の預入について、取組みを実施しました。

| |
|----------------------------------------------------------|
| 2021季節キャンペーン実績 |
| 【定期・エース預金新規預入】37,101件・119億48百万円 (2019年度比△1,307件11億67百万円) |

※ 2020年度は実施見送り。

④ 資産形成運動

ア. 「2021“人生100年時代”未来設計スタートキャンペーン」の展開

組合員の資産形成運動として、当該キャンペーンの周知活動を展開しました。

※ キャンペーン対象商品:「年金財形」または「iDeCo」または「投資信託定時定

額買付(つみたてNISA含む)」の新規契約(適用条件有)

| |
|--------------------------------------------------------------|
| 2021“人生100年時代”未来設計スタートキャンペーン 新規件数(2022年3月末時点) |
| 財形新規件数:3,029件/iDeCo新規件数:672件/ 投資信託定時定額買付(つみたてNISA含む):504件 |

イ.「投資信託・国債」の推進

学習会等を通して、組合員や退職者の多様なニーズに合致した資産形成の取り組みを展開しました。

| |
|---------------------------|
| 投資信託・国債新規件数(2022年3月末時点) |
| 投資信託新規件数:689件/国債新規件数:601件 |

(2)生活改善運動の取り組み～重点運動項目の推進～【資料6参照】

①住宅ローン推進運動

「住きっと!500」等の周知活動により、有担保ローン新規目標額を上回る成果となりました。

| |
|---------------------------------|
| 有担保ローン新規目標額(2022年3月末時点) |
| 【目標】660億円 【実績】771億円(目標対比+111億円) |

②可処分所得向上運動

組合員の可処分所得向上に繋げる運動を展開しました。

| |
|----------------------------------|
| 可処分所得向上額(2022年3月末時点) |
| 【実績】5億75百万円 |
| 可処分所得向上運動に関する学習会開催実績(2022年3月末時点) |
| 【実績】149件/2,882名 |

③非正規雇用組合員取引拡大運動

「全力応援 pack」の周知活動を行いました。

| |
|-----------------------------------------|
| 全力応援 pack(非正規勤労者向け融資商品)新規件数(2022年3月末時点) |
| 【実績】603件(前年同期比△32件) |

④「奨学金借換ローン」「奨学金借換+αローン」周知運動

社会問題化している奨学金問題に対し、勤労者のセーフティネットとして、更なる役割発揮を図る観点から、積極的な周知活動を展開しました。

【奨学金借換ローン】

| |
|-----------------------------------------------|
| 奨学金借換ローン新規実績(2022年3月末時点) |
| 【実績】40件/98百万円(前年同期比△10件・△25百万円) |
| 奨学金借換ローン累計実績(2022年3月末時点) |
| 【実績】424件/10億23百万円(集計期間:2017年10月1日~2022年3月31日) |

【奨学金借換+αローン】

| |
|----------------------------|
| 奨学金借換+αローン新規実績(2022年3月末時点) |
| 【実績】38件/155百万円 |

(3)生活防衛運動の取り組み

① 多重債務防止運動（学習会・研修会の開催）【資料7参照】

多重債務に関する学習会を開催するなかで、組合員の生活防衛に資する取組みを展開しました。

| |
|-------------------------------|
| 生活防衛運動に関する学習会開催回数（2022年3月末時点） |
|-------------------------------|

| |
|--------------------------|
| 【開催回数】75件 【参加組合員数】1,685人 |
|--------------------------|

② 多重債務救済運動（相談機能の発揮）

「お客様相談室」「各店・出張所多重債務相談員」と連携し、高金利ローン借換や多重債務に陥った組合員の相談対応を行いました。

| |
|--------------------|
| 多重債務相談（2022年3月末時点） |
|--------------------|

| |
|---------------------------|
| 【高金利ローン借換・多重債務相談件数】1,141件 |
|---------------------------|

5. ブロック別研修会の開催見送り

- （1）本研修会は、ろうきん運動の担い手となる会員中堅役員ならびに青年女性層組合員を対象に、「ろうきん運動をすすめる意義」の理解を深める貴重な機会と位置づけ、意見交換や学習の場として開催しています。
- （2）しかしながら、札幌から10名以上の事務局が各ブロックを訪問すること、また各地域からの参加者の宿泊を前提とした会議招集や懇親会の開催は、感染リスクを回避できないことから、2021年度のブロック別研修会の開催は見送りました。
- （3）ブロック別研修会中止に伴い、WEBにて全道の組合員とその家族が広く参加できる北海道ろうきん主催「北海道ろうきんフォトフォーラム～写真の広場～2021」に参画しました。

6. 「ろうきん友の会」「北海道退職者連合」との連携

- （1）本支店・出張所と連携した友の会加入者拡大の取組みの結果、新規加入会員は92名（前年同期比+23名）、総会員数は12,935名（前年同期比△487名）となりました。
- （2）北海道退職者連合と連携した「年金口座移管運動」の取組みの結果、契約件数は26,474件（前年同期比+444件）となりました。

【協議事項】

I. 2022 年度推進活動方針（案）

北海道ろうきんは、長期ビジョン（～2024 年度）の集大成となる「中期経営計画（2022～2024 年度）」において、理念に掲げられている「共生社会の実現」と「健全経営の維持」をコアバリュー（＝核とする価値観）に設定しました。

私達は、金庫が掲げるコアバリューの実現が、組合員の生活向上に繋がることに確信を持ち、会員・推進機構が一丸となって各種取組みを進めていきたいと思えます。

具体的には、つなぐプロジェクト推進運動を基軸に、コロナ禍をふまえた組合員との接点強化に資する各種取組み（組合員と家族に直接届ける教宣活動・WEB 完結型商品の周知活動等）を展開することで、ろうきんメインバンク No. 1 への取組みを進めます。

<重点取組項目>

1. 「つなぐプロジェクト for SDGs」推進運動【資料8参照】

- (1) リニューアルしたつなぐプロジェクトについて、メインバンクの定義を全体で共有したうえで、「対象項目の追加」「年度当初での寄付先の明確化」により、年間を通じ、より身近に感じられる運動を展開します。
- (2) 大会議案書での取組方針化や機関紙掲載、また執行委員会・学習会等での議題化等により、組合員へ広く知らせる活動を展開します。
- (3) 「つなぐプロジェクト」と「会員自主目標推進運動」の連動を強化します。会員自主目標の設定にあたっては、つなぐプロジェクト「会員分件数目標」≒「会員自主目標」を目指した取組みとなるよう、ろうきん各営業店と連携します。
- (4) 2021 年度取組み分の寄付先選定とともに、年度当初での寄付先の明確化（※）により、2022 年度取組み分の寄付先選定を進めます。
※【2022 年度寄付分野】保健・医療・福祉、子どもの健全育成のに取組む団体

2. 連合北海道・2020 生活アンケートをふまえた「メインバンク No. 1」への取組み

- (1) 「家庭に届ける」ろうきん周知活動の展開
 - ① 自主福祉運動の原点である「組合員に直接届ける運動」の重要性を鑑み、2021 年度に引き続き、組合員個人の家庭に、「便利で魅力的なろうきんを知ってもらうツール（チラシ）」を届ける取組みとして、「家庭に届け！ いいこと R（アール）キャンペーン」を展開します。
 - ② 全道の組合員とその家族（友の会含む）が楽しく参加できる、北海道ろうきん主催「北海道ろうきんフォトフォーラム～写真の広場～2022」に参画します。
- (2) 「組合員様専用サイト」の活用
組合員へ広くろうきん周知を図るために、「ろうきん News」「機関紙用データ」「WEB アンケート BOX」が掲載された組合員様専用サイトの周知活動を展開します。

<共通取組項目>

1. 可処分所得向上運動の取組み【資料9参照】

- (1) 「銀行カードローン問題への対応（当庫マイプランの保有・活用）」「他行高金利ローン借換（クレジットカードのリボ払い含む）」によって、組合員の可処分所得向上に資する運動を展開します。
- (2) 協同組合組織や福祉事業団体との連帯により、資金循環の環を広げます。
- (3) 2022年度取組指針として、「可処分所得向上額 10億円以上」を目指します。

2. 職域活動費の効果的な活用

WEB会議での職域活動費活用が可能となっているため、WEB会議へのろうきん担当者の参加に取組みます。

| |
|-----------------------------------------------------|
| (1) 2022年度職域活動費 |
| ① 年度予算 3,000万円 |
| ② 組合員1人当たり活用上限 2,000円 |
| (2) WEB会議での活用例 |
| ① 会員が主催するWEB会議において、各接続拠点（労組・支部単位等）の「会場・設備」に係る費用の助成。 |
| ② WEB会議開催の際に、接続拠点ごとに提供する「弁当代・懇親会」に係る費用の助成。 |

3. 推進機構活性化運動の展開

職場での「ろうきん運動」浸透に向け、①運動の基盤拡大（大会議案書への掲載、組合機関紙への商品・サービス掲載）、②「ナショナルセンター」「労福協」「青年・女性委員会」との連携、③本支店・出張所推進委員会の更なる活性化（本支店・出張所推進委員会総会[地区推進委員会含む]の出席率向上、キャンペーンの展開）に取組みます。

4. 生活応援運動の展開

(1) 生活設計運動の取組み

- ① ろうきんアプリ・エコ通帳推進運動
残高・入出金明細照会、かんたん通帳（Money Forward）、住所変更、ろうきんホームページへのリンクなど、いつでもどこでも確認できる「ろうきんアプリ」推進運動と、通帳記帳・繰越の必要がない「エコ通帳」推進運動を展開します。
- ② 退職金結集運動
組合役員帯同オルグの実施や、退職後の資産形成にかかわる学習会の開催等について、継続して取組みます。
- ③ 季節キャンペーン結集運動
ろうきん運動の原点である夏季・冬季一時金の預入について、サマーキャンペーン・ウインターキャンペーンと連動した取組みを実施します。
- ④ 資産形成運動
ア. 「2022“人生100年時代”未来設計スタートキャンペーン」の推進
組合員の資産形成に寄与する取組みとして、昨年度に引き続き「2022“人生100年時代”未来設計スタートキャンペーン」を展開します。

イ. 「投資信託・国債」の推進

組合員や退職者の多様なニーズに合致した資産形成の取組みを展開します。

(2) 生活改善運動の取組み ～重点運動項目の推進～

| 全道推進会議・重点運動項目 |
|------------------------------------|
| ① 住宅ローン推進運動 |
| ② マイプランを中心とした可処分所得向上運動の取組み |
| ③ 非正規雇用組合員の取引拡大に向けた「全力応援 pack」の推進 |
| ④ 「奨学金借換ローンの金利引下げ」「奨学金借換+αローン」周知活動 |

(3) 生活防衛運動の取組み

① 多重債務防止運動（学習会・研修会の開催）

マネートラブルや多重債務から会員・組合員を守るための運動として、動画視聴等を活用した学習会・セミナー等の開催に取組みます。

② 新型コロナウイルス感染症による影響をふまえ、可処分所得向上に資する北海道ろうきんの各種商品・サービスの周知活動を展開します。

③ 多重債務に陥った組合員の相談は、北海道ろうきんの「お客様相談室」「本支店・出張所多重債務相談員」と連携し、対応します。

| お客様相談室（相談員1名） | |
|---------------|-----------------------------------------|
| <フリーダイヤル> | 0120-380-931 |
| <住所> | 札幌市中央区北1条西5丁目3-10 本館 1F コンサルティングプラザ内 |

5. コロナ禍をふまえた、運動の展開に向けて

(1) コロナの長期化をふまえ、組合員や家族が幅広く参画できるイベントやキャンペーンについて、全道における支店・出張所推進委員会の好事例等を共有し、工夫を凝らした運動の展開に取組みます。

(2) コロナ禍をふまえ、2021年度に引き続き、家庭やWEBで推進可能なろうきん運動（「家庭に届け！ いいことR（アール）キャンペーン」「北海道ろうきんフォトフォーラム～写真の広場～2022」）を展開します。

(3) 各地域から宿泊や集合開催を前提として実施している「ブロック別研修会」については見送ることとしますが、新たな取組みを模索していきます。

6. 「ろうきん友の会」「北海道退職者連合」との連携

生涯取引の観点から、「ろうきん友の会」への加入を積極的に働きかけるとともに、つなぐプロジェクトと連動する「年金受取口座移管運動」に取組みます。

V. 役員の変更

下記の通り、役員を変更します。

| 役職 | 旧役員氏名 | 新役員氏名 | 所 属 |
|-------|-------|-------|--------------|
| 事務局次長 | 榎田 恵治 | 大湯 隆司 | 北海道労働金庫営業推進部 |
| 幹事 | 江原 裕美 | 佐野 和孝 | 北海道教職員組合 |
| 幹事 | 渡邊 一敏 | 萩尾 竜司 | 連合空知地協 |

VI. 今後の日程

| 開催日時（予定） | 会議名 | 開催方法 |
|------------|-----------|------|
| 2022年6月23日 | 第1回全道推進会議 | 書面開催 |

以上